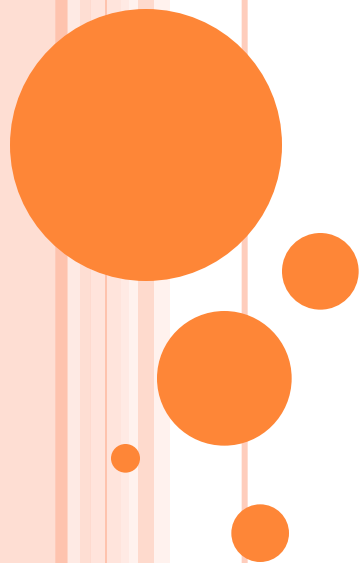


メディアからみた認知症



読売新聞東京本社 社会保障部
記者 飯田祐子

安心

自然体 隠さずに生きる



みかんを口に運ぶ山本さん。彼女を頼りにする利用者も多い（富山市内の「デザイナーズ木の葉」で）

「のびのびした方がいい？」
「小さくした方がいい？」
「冷たく冷んだ空気だ、日
差しがまぶしい。朝8時半
過ぎ。富山市内にある認知
症の人の通所施設「デザイナーズ木の葉」では、看護
師として週2回、パートで
働く山本さみ子さん（62）
が、果物を食べるお年寄り
の介助をしていた。「いい

認知症 明日へ 本人の思い

認知症になった時、自分ならどう生
きたいか。周りの人はどう寄り添え
よいのだろうか。増え続ける認知
症の人たちを巡って、いま、医療や介
護、社会のあり方が変わろうとしてい
る。「認知症の明日」を考える年間企
画では、まず、本人たちの声に耳を傾
ける。
（本田麻由美、写真も）

天気「うれしいね」と笑顔
で声をかける彼女自身も、
初期のアルツハイマー型認
知症と診断された本人だ。
*
「もしかして私、認知症
？と疑ったのは私自身と、
きみ子さんは言っ」。
それは3年前、保育所に
勤めていた53歳の時だ。朝
食をとりながら夫に地域の
行事を尋ねると、「昨日、
夕飯の時に話したじゃない
か」と言われた。だが、記
憶がくれない。「そんなこ
と聞いてない」と言い返す
と、夫はけんな態度で反論
した。かみ合わない会話を
「これは、きみ子さんと診て

看護の仕事 社会と接点

らわなきや」と思った。
看護師として高齢者施設
でも働き、認知症のことを
知りたいと、地元の家族会
の会員になって勉強した。
その知識と経験から、すぐ
に病院で診療と数種類の検
査を受けた。結果は、「あ
あ、直感した通りだった」。
59歳で診断されたことに少
し抵抗はあったが、「病院
で働き、がんの痛みを苦し
む人などをたくさん見てき
た。年を取れば誰でも何
かが病気になる。私の場合、
それが認知症だっただけ。
特別なことじゃない」。案
外、冷静に受け止めた。
*

夫婿で決めたことが幾つ
かある。①病気が隠さない
②車の運転はめめる③家事
は分担し、買物物は、一緒に
行く「なだだ」。
「悪いことをしたわけでは
ないけど、自然体で隠さ
ずに生活しよう」と決めた。
隠したら、バレるのが怖く
て外に出られない。夫は普
段通り生活するのにはたけ
家に閉じこもり、社会と切
り離されてしまう。その方
がつく、恐怖に感じた「
「後で知られて傷つく」
は自分。それより、隣近所
に知っておいてもらえば必
要な時に助けってもらえる
もできる」とも、独立した
3人の子もた
ちも、理解して
くれた。夫の雅
英さん（64）が
「恥かしい」と言っ閉
じこめるのでなく、一緒に
歩み、理解し、支えてくれ
るのが心強かった。
*
診断後、仕事を辞めたが、
知人の紹介で2年ほど前か

＜本人が語る認知症＞
オーストラリアのクリスティ
ーン・ボードンさんが、46歳で
認知症と診断された体験や思い
を記した著書を1998年に出版、
国際的に注目された。日本では、
2004年に京都で開かれた「国際
アルツハイマー病協会国際会
議」で、認知症の男性が本名を
公表して病気への理解などを訴
え、「本人の思いに沿ったケア」
の重要性が広まるきっかけとな
った。きみ子さんも、09年の「認
知症の人と家族の会」京都大会
で「私の思い」を発表したほか、
ロンドンで先月開催された国際
会議で本人意見交換会に参加す
るなど、活発に行動している。

「認知症 明日へ」
2012年4月～
2014年3月
夕刊連載

書籍
「認知症
明日へのヒント」
中央公論新社

ら現在の職場で働くように
なった。毎週水・金曜の2
回、血圧・体温の測定をし
て利用者の健康管理をする
ほか、トイレ介助や見守り、
話し相手もする。郵便局を
定年退職した後、ヘルパー
2級の資格を取った雅英さ
んも同じ職場に勤める。
「病気を理解してもらっ
た上で働けるのはありがた
い。生活に刺激が出て、医
学的には分からないけど、
病気の進行を遅らせている
のでは」と思っている」。
ただ、最近はずりが出て
こなくなり、日記をやめた。
職場でも、体温計などがい
つも違う場所にあると見
つけられなくなることあ
り、「少しずつ、進行して
いるのかな」と実感する。
それでも悲観はしない。
「積極的な人とかがわり、
社会とつながっていたい。
隠さない私たちの生き方
が、病気の偏見をなくし、
多くの認知症の人と家族が
暮らしやすい社会をつくる
ことに役立てばうれしい」

厚労省、年間推計
家族介護6.2兆円

の強化が求められそうだ。

推計は、医療・介護サービスを
利用している認知症の人を
対象に、2014年時点の1年間の費用を計算した。
医療・介護費は、国の

患者500万人
対策は急務

認知症ケアに社会全体でどれだけの費用がかかっているかが明らかでない。将来推計では、国別の世代が85歳以上になる35年には総額2兆2,244億円にまで膨らむと試算した。

認知症の人が使う介護保険の費用に匹敵しは、国別の世

得た推計では、

計算。食事の支度などは、介護をされる代わりにお勤いければ得られた賃金として、1時間当たり965円円で換算した。その結果、認知症の人1人当たりの家族介護の費用は年間3882万円。全体では6・2兆円とい

になった。推計で年間14・5兆円、国民全体の医療費43兆円（2014年度医療費）の3分の1にあたる規模だった。

認知症の人は、2022年には約700万人まで増える。今回の推計は医療費だけでなく介護や家族負担に限定されたもので、詐欺被害や

但も含めれば、将来的には、
御中への事故、見守りの負
担も増える。費用が、いま
費用がこれまで膨らむか想
像も付かない。対策は、ま
さに火急の課題だ。

認知症にかかる社会的費
用については、世界保健機
関(WHO)が、12年に「10
年時点で世界で6040億
円(約7兆円)」と報告。

米国では、10年時点では、150億ドル(約27兆円)と試算している。

欧米では認知症が及ぼす経済的影響を明らかにし、対策を強力に推し進めている。日本も、今回得られた推計をもとに、効率的な施策策つくりを急ぐべきだ。

(社会保険部 飯田祐子)

中国人工島12^{リカ}内も活動

国防長官 米軍機・艦船領有権認めず

【シンガポール＝今井隆】
 ガーター米国防長官は27
 日、中国が南シナ海のスプ
 ラトリー（南沙）諸島で進
 める岩礁の埋め立てに關
 し、米軍の航空機や艦船は
 造成された人工島の12カ
 （約22カ）の範囲にとらわ

堂問

オバマ米大統領は28日、フロリダ
Nマイアミにあるピューマ系多量り

れず、周辺の活動を続ける意向を示した。ハワイからシンガポールに向かう機中で同行記者団に語った。国際法は海岸線から12海里を領海、領空と定めている。カーター氏は「米国は

2015年1月27日
夕刊 1 面

認知症国家戦略を決定 初期支援 全市町村で

政府は27日午前、認知症対策についての関係閣僚会合の初会合を開き、手薄だった発症初期や65歳未満の若年性認知症への支援強化を柱とする国家戦略（新オレンジプラン）を正式決定した。認知症の人が約700万人になると見込まれる2025年度までの取り組みをまとめたものだ。

認知症対策は厚生労働省が13年度から17年度までの「認知症施策推進5か年計画」（オレンジプラン）で進めているが、安倍首相は昨年11月に東京都内で開かれ

- 国家戦略のポイント
- ▽発症初期段階の相談・支援チームを17年度末までに全市町村に設置
 - ▽若年性認知症の相談窓口を17年度末までに全都道府県に設置
 - ▽認知症に関するキャンペーンや学校教育を実施
 - ▽政策の立案・評価に認知症の人や家族が参加

な「認知症サミット」の日本会議で同計画に加え、省庁横断的な国家戦略を策定する方針を表明。厚労省、警察庁、消費生活など12省庁が共同で戦略をまとめた。

国家戦略は公的サービスがほとんどなかった発症初期に関し、専門医の指導を

に入る方針も明記された。安倍首相は閣僚会合で「認知症の方が安心して暮らせる社会を実現し、世界でほしい」と指示した。

* みちのくの仏像展

平安時代半ば、一風変わった木彫仏が造られるようになった。ノミ跡は、何を物語っているのか。これまでは、ノミ跡を残す「鉋彫」木を聖なるものと捉え、そ

ラガルド専務理事は26日付の仏紙ル・モンドで（ギリシャを）特別扱いすることはない」として債務の減免の可能性を否定した。

ノミ跡 音楽的な美



（写真は東北歴史博物館提供、部分）

重要文化財 聖観音菩薩立像
平安時代・11世紀
岩手・天台寺蔵

「みちのくの仏像」展は4月5日まで、東京・上野の東京国立博物館。月曜休館（3月23、30日は開館）。

2016年6月19日
朝刊医療面

認知症の大規模研究が国内で相次いで始まる。特に注目されるのが症状が出現する前の「超早期」。この段階から、脳の状態を調べて病気の進み方を解明し、認知症根治薬の開発につながるのが狙いだ。

(飯田祐子、野村昌玄)

厚生労働省の推計では、国内の認知症の人は、約462万人(2012年)。その7割程度を占めるとされるアルツハイマー型は、脳内に異常なたんぱく質「アミロイドβ」などが蓄積し、脳が萎縮して発症するが、詳しいメカニズムは分かっていない。現在、使われる4種類の治療薬は進行を遅らせるのが目的で、原因となるたんぱく質の蓄積を食い止めるだけだ。

2000年以降、国内外でアミロイドβの増殖を抑える根治薬の研究が進んだ。海外で臨床試験も行われたが、進行した認知症ではアミロイドβを減らせても、既に神経が死滅しており、症状の改善につながらないことがわかってきた。

アミロイドβは、認知症を発症する10~20年前から脳に蓄積するとされる。症状が出る前の超早期(プレクリニカル)で治療すれば発症を抑えられるのではないかと。そんな考えで、超早期の状態を探る研究が国内でも始まっている。

その一つが、家族性アル

医療なび

認知症発症前の「超早期」に注目

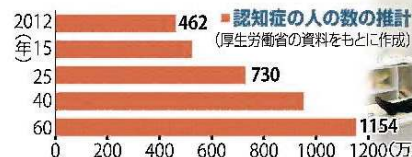
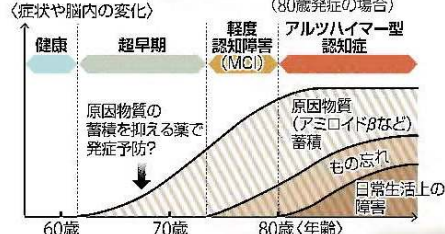
根治薬開発へ脳状態調査

認知症の大規模研究スタート

■国内で始まる大規模研究

名称	DIAN(ダイアン)	AMEDプレクリニカル	オレンジプラットフォーム
研究対象	家族性アルツハイマー病原因遺伝子を持つ人	健康〜軽度認知障害(MCI)の人	健康〜認知症の人
内容	アルツハイマー発病のメカニズム解明	超早期診断法の確立	臨床試験参加候補者の事前登録など
参加者数(目標)	30人以上	500人	数万人以上

■アルツハイマー型認知症発症までのイメージ



■認知症の高齢者数



脳内の様子を撮影するMRI。認知症研究での強力な武器の一つだ(大阪市立大学で)

ツハイマー病を対象にした「DIAN(ダイアン)」研究だ。米国などで08年から実施され、東大や弘前大などの日本の研究チームが今年から参加している。

家族性アルツハイマー病は遺伝子の変異で起きる。40~50歳代を中心に、親とほぼ同じ年齢で発症するため、発症時期が予測できる。発症前から脳内の様子など

を調べ、どのように原因物質が蓄積し、症状が引き起こされるかを明らかにする。今後、発症を予防する新薬の国際的な臨床試験にも参加できるようにする。

日本医療研究開発機構(AMED)は、症状が出ない、超早期の段階で診断するための指標を作る「AMEDプレクリニカル」を近くスタートさせる。

現在、超早期の人を見つけ出すには、陽電子放射断層撮影(PET)で脳を撮影するしかない。装置が高いため、より簡便な指標が求められている。

超早期のほか、軽いもの忘れがみられる「軽度認知障害(MCI)」の人、原因物質の蓄積がない健康な人計500人を対象に3年

間、認知機能テストや血液検査など約30項目の変化を観察。指標をつくり、新薬の臨床試験などで活用する。主任研究者で大阪市立大学特任教授の森蔵さんは、「まずは症状が出る前の段階で有効な薬の開発につながる工夫を込める。健康な人から認知症が進んだ人まで、様々な段階の人を数万人規模で登録するプロジェクト「オレンジプラットフォーム」も今月、始まる。超早期やMCIの人を登録しておくことで、臨床試験の迅速化を図る。

た薬剤もあった。このため、最近では超早期や軽症者を対象にした研究が増えており、米国立衛生研究所(NIH)も製薬企業と共同で、超早期の人を対象にした新薬の臨床試験を実施中だ。

東京大学神経病理学教授の岩坪威さんは「世界と共同研究を行い、最新成果をいち早く日本に還元していく必要がある」と話す。

最新成果を還元

海外では、アミロイドβが作られる過程を断ち切る薬や、できたアミロイドβを分解する薬の臨床試験も行われたが、有効性を示せない、副作用がある、などの理由で実用化には至っていない。ただ、軽症者には、わずかに認知機能の低下を抑える効果が確認され